

令和5年度成田市学力調査の結果について【小学5年生】

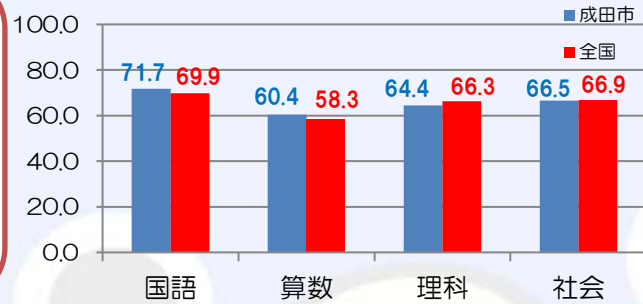
【成田市学力調査・実施概要】

- 1 実施日 令和5年12月6日・7日
- 2 実施教科 国語、算数、理科、社会

なお、本調査の結果については、児童生徒が身に付けるべき学力の一部であることに留意願います。

※本調査における全国（国）とは、国内の全小中学校のうち、本市と同じ問題を実施した小中学校を対象としています。

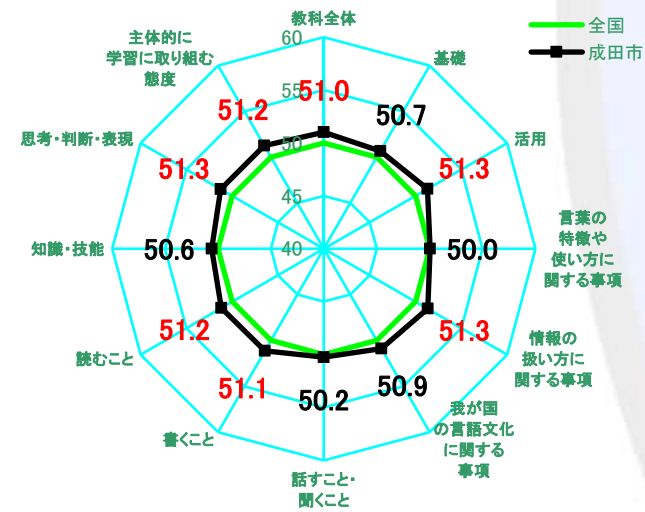
1 各教科の平均正答率



2 教科ごとの状況

(1) 国語 (全国の正答率を50とした相対値)

【全国と比較し、概ね良好な結果が見られた出題例】



番号	出題内容	市 (%)	国 (%)
5 (1)	叙述を基に文章の内容を捉えている。〈説明文の内容を読み取る〉	80.8	79.5
6 (1)	目的や意図に応じて、書き表し方を工夫している。〈ポスターを作る〉	80.6	79.5

【全国と比較し、課題が見られた出題例】

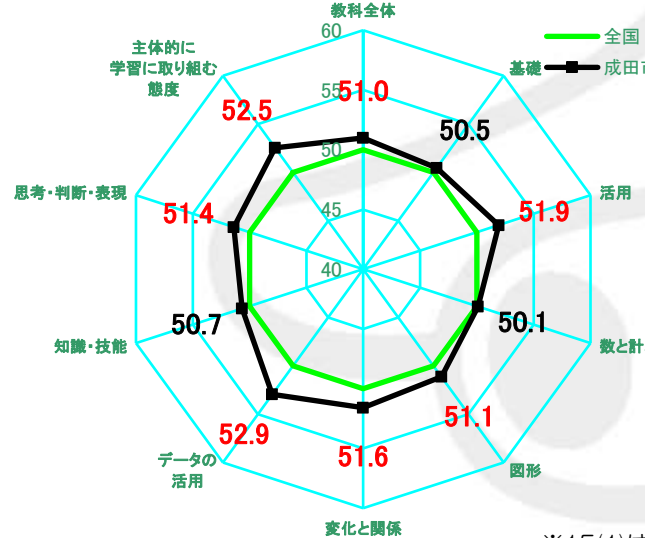
番号	出題内容	市 (%)	国 (%)
3 (2)	連用修飾語について理解している。〈言葉の学習〉	20.5	25.0
7	指定された長さで文章を書いている。	64.1	58.9
	段落の役割について理解し、2段落構成で文章を書いている。	58.3	58.5
	自分の意見を明確にして書いている。	83.5	79.3
	自分の意見を刺させる理由を明確にして書いている。〈文章を書く〉	72.9	71.5

【国語・力を入れたい学習】

修飾語の働きについて確認しましょう。あとに続くどの言葉をくわしく説明しているのかを確認しながら、同様の問題を解いてみましょう。また、文章を書く活動では、段落の役割を確認し、内容ごとに段落を意識して文章を書くことを習慣づけましょう。

(2) 算数 (全国の正答率を50とした相対値)

【全国と比較し、概ね良好な結果が見られた出題例】



番号	出題内容	市 (%)	国 (%)
12	既習の四角形について、対角線で分割した三角形を合同の観点でとらえ直している。〈合同〉	57.6	52.1
16 (1)	値に0があり、答えが小数になる分母量の平均を求めることができる。〈平均〉	76.7	61.6

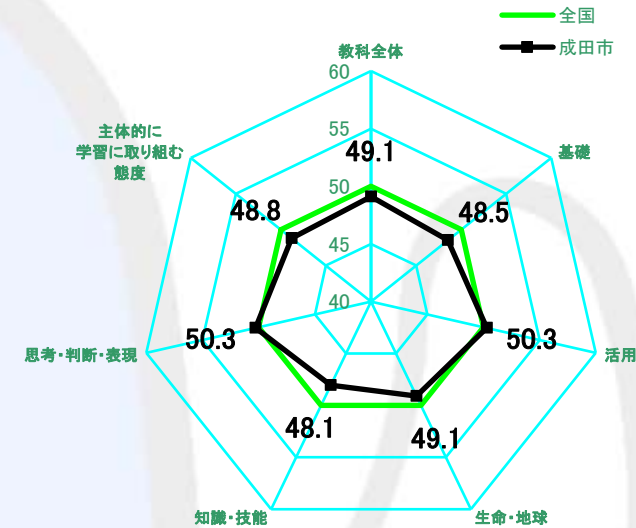
【全国と比較し、課題が見られた出題例】

番号	出題内容	市 (%)	国 (%)
3	小数の乗法でも分配法則が成り立つことを理解している。〈小数のかけ算・わり算〉	47.2	51.3
15 (1)	1人あたりのたたみの数やたたみ1枚あたりの人数を求めて、どちらの部屋が混んでいるのかを説明している。〈平均〉	20.7	15.3

【算数・力を入れたい学習】

「単位量あたり」の学習では、①1あたりの数値を求めるわり算の立式②求めた答えが何を表しているのかの理解が必要です。②については、場面絵や図をかき練習をしましょう。

(3) 理科 (全国の正答率を50とした相対値)



【全国と比較し、概ね良好な結果が見られた出題例】

番号	出題内容	市 (%)	国 (%)
1 (3)	アメダスの雨量情報から該当する雲画像を指摘できる。〈天気の変化〉	83.6	75.4
4 (3)	山の雨量と下流の川の水位の関係をグラフから読み取り、指摘できる。〈流れる水のはたらき〉	64.3	57.8

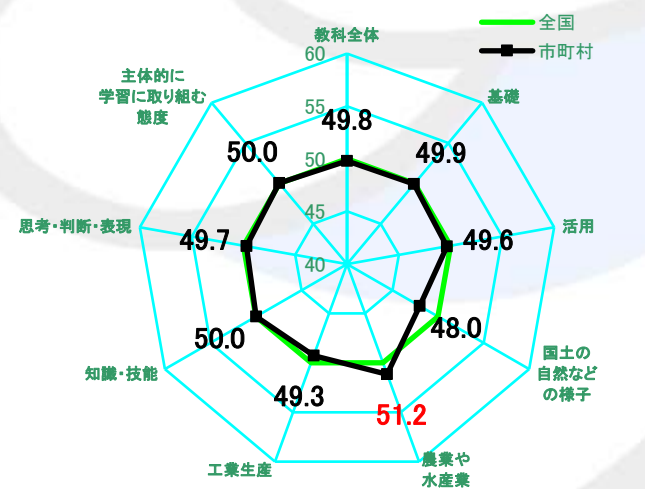
【全国と比較し、課題が見られた出題例】

番号	出題内容	市 (%)	国 (%)
1 (1)	曇量による天気の決め方について理解している。〈天気の変化〉	38.5	49.8
9 (2)	メダカの雄と雌の見分け方を理解している。〈魚のたんじょう〉	41.5	55.9

【理科・力を入れたい学習】

「どんな違いがあるか」を、改めて整理してみましょう。「晴れと曇りは何が違うのか」「メダカのオスとメスは何が違うのか」など、学んだことを自分で整理し直すと理解が深まります。

(4) 社会 (全国の正答率を50とした相対値)



【全国と比較し、概ね良好な結果が見られた出題例】

番号	出題内容	市 (%)	国 (%)
3-2 (2)	気候条件から見て、特色ある地域の産業の様子について、資料を読み取っている。〈寒い土地の暮らし〉	85.9	75.0
5 (1)	水産物の生産の工夫について、複数の資料を読み取っている。〈日本の水産業〉	81.5	75.7

【全国と比較し、課題が見られた出題例】

番号	出題内容	市 (%)	国 (%)
1 (2)②	北方領土について理解している。〈世界の中の国土〉	30.7	42.6
7 (3)	関連工場について理解している。〈自動車をつくる工業〉	44.5	56.7

【社会・力を入れたい学習】

竹島や北方領土、尖閣諸島が、日本固有の領土であることを理解し、領土問題についても説明できるようにしましょう。工業製品の製造工程、色々な工場の協力関係、優れた技術に着目して、関わる人々の工夫や努力について調べてみましょう。

※15(1)は全国値と比較すると数値は高いが、目標値が30であるため、課題として掲載